

デュアル・ トウ

マニファクチュール創業 20 年を祝う クリストフ・ クラレの記念ウォッチ

創業から 20 年を迎えるクリストフ・ クラレ株式会社

最高級時計界が築き上げてきた伝統を守りながらも、複雑かつ独創的で、信頼性の高いムーブメントを設計、開発できる時計メーカーは極めて稀な存在です。そうしたブランドのひとつ、スイスのル・ ロックルに拠点を持つクリストフ・ クラレが今年で創業 20 年を迎えます。

この 20 年間、クリストフ・ クラレは世界で最も複雑とされる新しいキャリバーを開発してきました。そうです、クリストフ・ クラレは、他ブランドの極めて精巧なコンプリケーションウォッチのためにキャリバーを制作する、数少ないムーブメント専門ブランドのひとつなのです。だからこそ、ごくわずかな時計通の方々を除いては、クリストフ・ クラレの名前はあまり知られていないのです。しかしながら、複雑機構として最初に実現されたミニッツリピーターやオービタル・ トゥールビヨン、ローラーにより表示が行われるパーペチュアル・ カレンダーなどの作品を通じて、マニファクチュールは最も革新的で競争力の高いブランドとして、時計業界の頂点に君臨しているのです。

弊社の占めているこの栄えある地位は、クリストフ・ クラレのたゆみのない完璧への追求心により築き上げられたものです。フランスのリヨン地方出身のクリストフ・ クラレは、ジュネーブ時計学校で学び、古い時計の修理師としてそのキャリアの第一歩を踏み出します。1987 年のバーゼルワールドにて、彼はスイスの由緒ある時計会社から、ミニッツリピーターの特別開発を依頼されます。そしてこの依頼に応えるため、クリストフ・ クラレはふたりの有望な時計技師とともに会社を設立します。そして 1989 年には、独立の必要に迫られたクリストフ・ クラレは、ふたりのパートナーの持分を買い取り、社名を“クリストフ・ クラレ株式会社”と改め、単独のオーナーとなります。それ以降彼のアトリエでは、時計製造の伝統と最新技術を完璧に融合させたムーブメントが絶えず発明され、生産されていくこととなります。

デュアル・トウ – 卓越のシンボル

2009 年は、クリストフ・クラレにとって大きな転換期となります。彼は、この転換期に際して特別モデルを開発し、厳選されたブティックでの販売を通じてその名前を広めたいと考えています。デュアル・トウと名付けられたそのモデルは、クリストフ・クラレが思い描く時計観が如実に映し出されています。ひとつの特許を含むさまざまな発明に彩られたこのクロノグラフは、遊星歯車機構によるプッシュボタンにソヌリ機構、さらにはトゥールビヨンという特性を有し、ブランドの技術における卓越性だけでなく、デザインに対する絶対的なこだわりまでも具現しています。このモデルにはまた、ブランド・クリストフ・クラレが持ちうるすべての技量が集約されています。デュアル・トウは、ムーブメントの開発から、受けとしての役割も果たすサファイアガラス製文字盤の制作まで、ほぼすべての工程が自社内で実現されました。

力強さとエネルギーを具現した腕時計デュアル・トウは、精巧を極めた時計機構です。ベルトによる時・分表示という前例のないデザインで、テクニカルながら気品のある表情を見せる一方、その内部では機械式手巻ムーブメント、キャリバーCC20A が数々の革新を隠し持ちます。例えば CC20A は、クロノグラフのプッシュボタンが押されると、その度にゴングが鳴る仕組みとなっています。ミニッツリピーターに強いという、マニユファクチュールの伝統を垣間見せる機能です。

デュアル・トウ – 新しい卓越性の証

クリストフ・クラレの名を冠する、初めてのグランド・コンプリケーションウォッチ“デュアル・トウ”。創業 20 年を記念して特別開発されたこのモデルは、活力溢れるマニユファクチュールの精神を如実に具現しています。遊星歯車機構によるシングルプッシュボタンとソヌリ機構を備えたこの機械式手巻クロノグラフ トゥールビヨンは、卓越性と経験のシンボルとして、ブランドの実力をはつきりと証明しています。また“CC20A”と名づけられたこのムーブメントは、クリストフ・クラレで働く 100 人あまりの社員たちのエネルギーと情熱の表れでもあります。

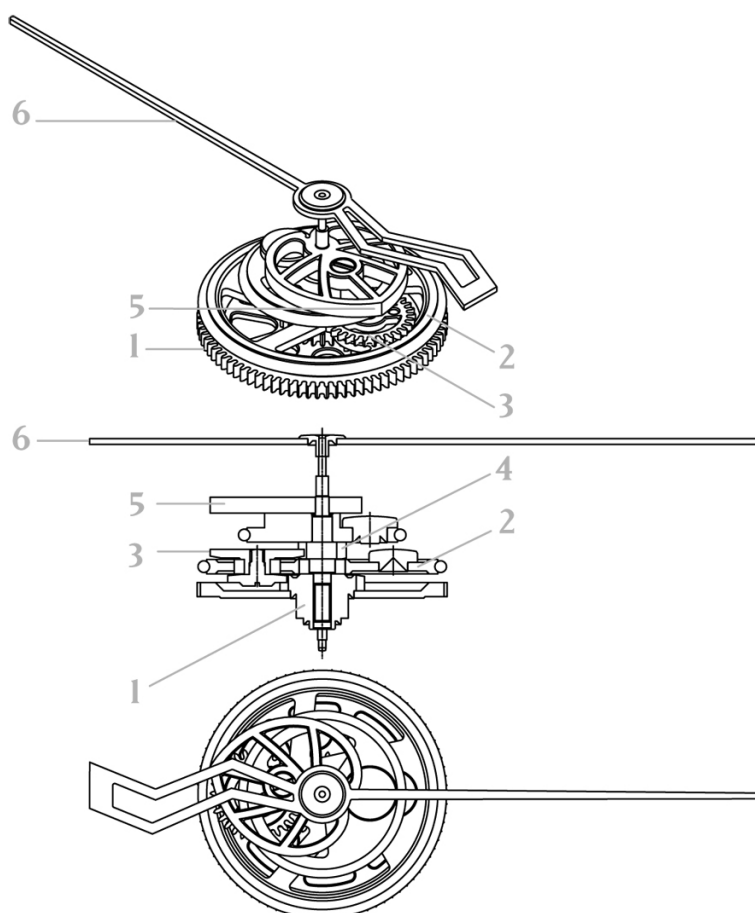
20 周年という大きな節目に際して、クリストフ・クラレはこの比類なきモデルに、ブランドの象徴を融合させて独自性を極めたひとつの方向性を与えることを決めました。こうして誕生したデュアル・トウには、この 20 周年記念にふさわしい、情熱、若い力といった要素だけでなく、一瞬一瞬を大切に生きたいという強い欲望、さらには未来に対する希望がひとつに集約されています。ひとつのモデルの中に具現されたこれらの思いが、クロノグラフの仕組みに対する特許申請を含むさまざまな革新性に富んだ、世界でたったひとつのメカニズムに生を与えたのです。また、その独自性をさらに極め、モデルに華やかなタッチを添える要素として、このモデルのカスタマイズがあります。未来の所有者は、幅広いカラーパレットから、自分の好きな色を選ぶことができるのです。挑発的でかつ独創性に富んだ、それぞれが一点もののこの記念モデルは、68 個限定品として登場します。

デュアル・トウ - メカニズム

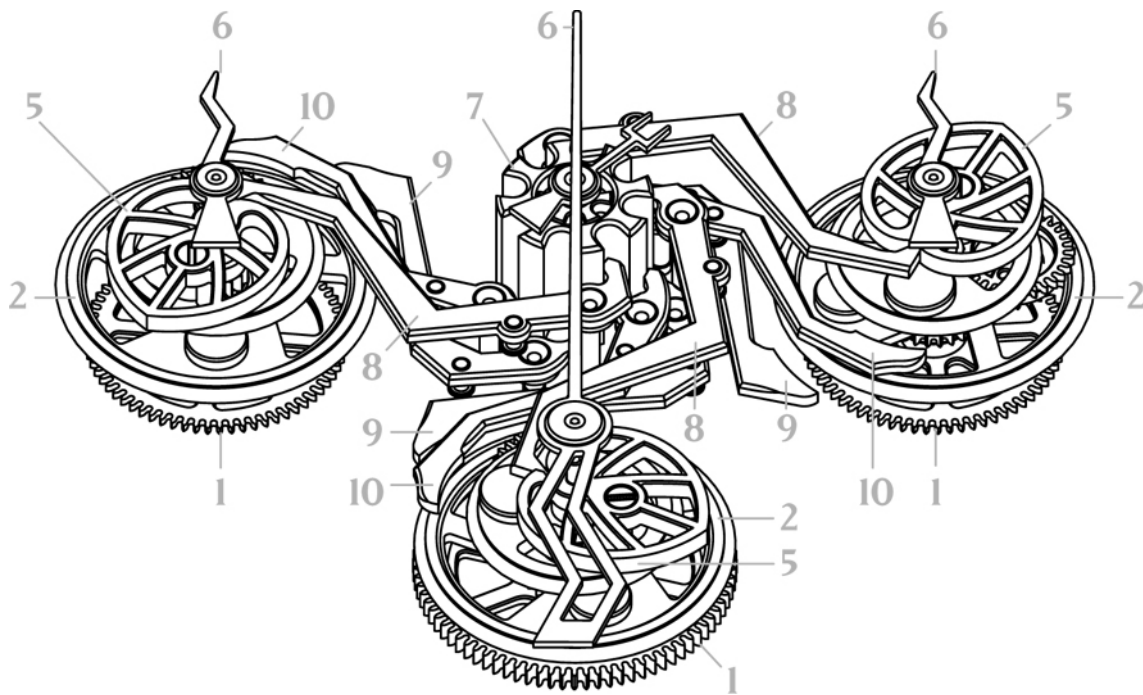
ソヌリ機構を備えた、遊星歯車機構によるシングルプッシュボタンクロノグラフ

デュアル・トウが実現した革新の中でもまず特筆すべきものに、それぞれが同じ構造の遊星歯車機構 3 つを有したシングルプッシュボタンによるクロノグラフ機能があります。ムーブメントと直接噛み合った遊星歯車機構の入力歯車(1)は継続的に作動し、この入力歯車とつながった衛星歯車受け(2)が入力歯車の軸上を回ります。そして、その衛星歯車受け上を 2 つの衛星歯車(3)が回転します。入力歯車の軸と平行に配された軸の上に配されたこの衛星歯車 2 つが、衛星歯車受けの上部に配された出力歯車(4)と入力歯車とかみ合わせます。先端では、1本の針(6)が上に配されたカム(5)が、出力歯車と連動した入力歯車と同じ軸上に固定され、クロノグラフのリセットを司ります。

入力歯車は 2 つの方法でその動力を伝達します。針の回転が停止した時、衛星歯車受けはどの歯車と噛み合うことなく空を回転するようになります。クロノグラフ機能がストップとリセットモードの時にこの状態となります。一方、クロノグラフがスタートのポジションにある時、衛星歯車受けは停止し、入力歯車の回転が針に動力を伝達します。



クロノグラフ機能が作動された時、コラムホイール(7)の歯が1つ分前進し、リセットハンマー(8)を持ち上げます。そしてスタートブレーキ(9)が落ち、3つの衛星歯車受け(2)を停止させます。動力が入力歯車(1)から出力歯車(4)に伝達されるため、針が瞬時に動きだします。そしてプッシュボタンを2回目に押した時に、クロノグラフは停止されます。コラムホイールがさらに歯1つ分進み、スタートブレーキを持ち上げ、これにより衛星歯車受けが開放されます。そしてストップブレーキが落ち、針と連動しているディスクを停止させます。さらにプッシュボタンを押すと(3度目)、コラムホイールがまた歯1つ分前進します。ストップブレーキが持ち上がり、出力歯車が開放されます。ハンマーがその後すぐにカム(5)上に落ち、針がゼロに戻るまでカムを回転させます。これでクロノグラフ機能の1サイクルが終了し、新たな計測が始められる状態に戻ります。



前例のないクロノグラフ機構は、クリストフ・クラレの独自発明として、その技術内容が特許により保護されています。この複雑機構の連動システムでは、スタート、ストップ、リセットのいかなるポジションにあっても必要とされるトルクが同じであるため、キャリバーの規則的な進行が保証されています。従来のクロノグラフとは異なり、ムーブメントがテンプレの振幅の差異に影響されることがなく、進行の規則性が損なわれることはありません。それゆえさらに高い精度が期待できるのです。

この成功に確かな手ごたえを得たクリストフ・クラレは、クロノグラフのスタート、ストップ、リセットのモード切替を音で伝えるソヌリ機能を付け加えて、キャリバーをさらに複雑

なものとなりました。ソナリ機構やオルゴールウォッチの分野におけるマニファクチュールの卓越したノウハウを裏付けるこのモデルは、他にはない独特な響きを奏でます。カタツムリの形をしたゴングは、開発と製造が最も難しく複雑なもののひとつです。

クリストフ・クラレとそのスタッフは、あらゆるディテールにもこだわりを見せ、最後にこのモデルにクロノグラフインジケータを付け加えました。こうしてこの時計の所有者は、クロノグラフの作動状態を知ることができるようになったのです。

このモデルでは、クロノグラフの時、分のカウンターが、サファイアガラス上のそれぞれ 11 時と 1 時の上に、そして秒針は中央に配され、完璧なシンメトリーが描き出されています。また、力強さと技術性を打ち出したこのすっきりとしたデザインにより、コラムホイールおよびレバーとハンマーで構成されるクロノグラフ機構が作動する様子を 12 時位置からご覧いただけます。クロノグラフのレバーの動きが連想させるのは、花びらが少しずつ開いていく姿。そして、これらの部品が特別開発された地板と連動したピースに固定されている構造は、デザインに対する究極のこだわりを証明しています。この地板はリボルバーのシリンダー (barillet) に似た形をしていることから、“Barillot (バリヨ)”と名付けられました。

トゥールビヨン

マニユファクチュール・クリストフ・クラレの歴史において、主要コンプリケーションの中でも 2 つ目に開発され、極めて複雑なキャリバーに組み込まれたのがトゥールビヨンです。このモデルでは、時計製造の伝統が生んだ代表的な発明の中でも、洗練を極めたこのコンプリケーションにスポットライトを当てるため、6 時位置に配されたトゥールビヨンがその姿を完全に現すようにデザインされています。このトゥールビヨンは、60 秒で 1 回転しながら、メゾンの象徴的なキャリッジを誇らしげに見せてくれるのです。上の受けに配されたブランドロゴは、クリストフ・クラレのイニシャル CC を背中合わせに並べたデザインですが、時を経て一目で認識のできるブランドシンボルとなりました。

巻上げ機構が一体化されたベルトによるディスプレイ

無限軌道にインスピレーションを得たクリストフ・クラレは、左に時間、右に分とこれまでにない独創的ディスプレイを可能とする、創意工夫に富んだメカニズムを実現しました。クリストフ・クラレのために特別開発されたラバー製の2つのベルトは時計の両側に配され、そこには技術性を象徴するスタイルの数字があしらわれています。その上には、トゥールビヨンの受けの上に固定された小さなポインターを持つカラーフォークが枠を描き出し、それが時間の読み取りを可能としています。

刻み目のあるこれらのベルトは、両端に配されたシリンダーによって動きます。動きのあるイメージを強調するため、その側面にはブガッティ T35 の車輪のリムからインスピレーションを得たデザインが採用されています。内部では、極めて精巧な調整を可能とする引締めネジのユニットが、最高の作動状態を保証しています。このメカニズムに加え、分のベルトの後ろには、完全に組み込まれた巻上げと時刻調整のシステムが隠されています。

パワーリザーブ

機械式手巻ムーブメント、キャリバーCC20A は、2つの香箱により50時間以上のパワーリザーブを可能とします。ムーブメントの中央に一直線に配された香箱の角穴車も、ブガッティ T35 の車輪の象徴的スポークを想起しています。また、裏からも見えるパワーリザーブインジケーターにより、エネルギーの残量を知ることができます。

仕上げ

クリストフ・クラレのマニユファクチュールで設計、開発、製造が行われた全ムーブメントと同様に、CC20Aの部品はそれぞれ高級時計製造の高い基準に従って制作されています。デュアル・トウの威光を確かなものにするその部品には、面取り加工やヘアライン仕上げ、鏡面仕上げ、着色などの仕上げが純然たるマニユファクチュールの伝統に従って施されています。お客様が自分のモデルに選んだカラーに応じて、部品はブルーイング、アルマイト処理、電気めっき処理が施されます。

デュアル・トウ – デザイン

デザイン

デュアル・トウのシェイプは、クリストフ・クラレ本人とデザインチームが幾度となくデザインを交換しながら練り上げられたものです。多くの人の手によって生まれたこのモデルは、キャリアー製造専門ブランドならではの独創性と創造性に基づいたアプローチの賜物です。素描から完成図への修正を経て、当初丸みのあったデザインが、シャープなカットへと姿を変え、力強いラインはその威力をますます強めました。こうして当初のクラシカルな風貌は、徐々に男性的な個性を帯びたデザインへと変化を遂げたのです。そこに、デュアル・トウの真髓が浮き上がります。

表面

時計製造技術における威光に満ちた伝統を、時計作りの未来に賭ける大胆な想像力に融合させ、さらに昇華させたいという葛藤の中で生まれたデュアル・トウは、その中にさまざまなデザインシンボルを含み持ちます。パワーショベルや月面着陸船のような、大きくて力強い機械の世界に無限軌道からのインスピレーション–、こうした雄雄しいパワフルなイメージが、ベルトによる表示システムに表現されています。

一方、スピードとエネルギーのイメージは、クロノグラフの針の形の中に集約されています。シャープなカットの針のデザインは、時の一瞬一瞬を拾い上げる閃光のようです。また、時間と分の表示からは控えめながらもロボットの姿が想起され、数字を囲む枠は未来的なロボットの手を連想させます。

さらに、時計構造に類稀な卓越性を見せるデュアル・トウは、その内部をすべて誇らしげに露呈します。ムーブメント上部を覆うサファイアガラスの文字盤には、クロノグラフ機能の時間と分表示のみしかなく、その内部の動きの眺めを妨げるものは何もありません。このようなシースルー構造は、魅惑的なスペクタクルを披露してくれるだけでなく、トゥールビヨンの回転や、クロノグラフのブレーキやレバーの動きなどを通じて、時が移りゆくという事実を実感させてくれるのです。

企業内での徹底した研究開発の末に誕生したこのケースの特徴として、サファイアガラスの存在感があります。加工が難しいこの素材は、その取り扱いも数少ない専門の会社に限定されていますが、このデュアル・トウを構成する部品のすべては自社内で製造されています。クリストフ・クラレは、この素材の加工を可能とするため、独自の工作機械までも開発しました。このサファイアガラスの例を含め、腕時計の製造の工程をできる限り自社内で行おうとするアプローチは、ムーブメント専門のメーカーの中においては、極めて稀なものとなっています。

インデックスのデザインが引き起こす遠近感により、インナーベゼルが人々の視線を直覺的に腕時計の中心に誘導します。一方、5秒毎に配されたカラーストーンによるインデックスは、腕時計全体と美しい調和を描き出しています。

裏面

裏蓋にはサファイアガラスが使用され、ここからムーブメントの裏面を覗くことができます。この裏蓋は、このモデルのために特別に作られたネジでケースに固定されています。このデュアル・トウだけの仕様により、クリストフ・クラレは時計機構に対するあらゆる作業がすべて自社内で行われていることを保証します。それは、その諸作業に必要な道具を所有しているのが、クリストフ・クラレだけであるからです。

ケース

なだらかな曲線を描く長方形のケースは、ムーブメントのスペクタクルを演出するフレームの役割を果たしています。所有者の手首のラインに腕時計をぴったりフィットさせるための移動調整可能なラグを備え、快適な着け心地を約束するこのケースの両側には、ともにラバーで一部が覆われたクロノグラフ機能を司るプッシュボタンとリューズが配されています。エッジは斜めにカットされ、サテン仕上げやポリッシュ仕上げの施された表面が、光を反映させます。左側には大きな開口部があり、時間のベルトを駆動する滑車が覗えます。またプッシュボタンとリューズの間配された右側の小さな小窓からも、同じ光景がご覧いただけます。

ブレスレット

クロコダイル、またはラバーのデュアル・トウのストラップには、独自に開発された調整可能なバックルが備えられています。装飾カバー、2つの可動部品で構成される三つ折式フォールディングバックルは、着ける人の手首のサイズに合わせて1センチまでゆとりを出すこ

とが可能です。夕方などに手首がむくんでサイズが大きくなり、ストラップがきつくなったと感じる時に、長さを調整できるこのシステムが快適な着け心地を約束します。

無限大のカラーチョイス

一点ものの腕時計でありながら、デュアル・トウは異なるさまざまな顔を有しています。お客様に自分だけの時計作りを提案するという高級時計界の新しい流行の波に乗って、クリストフ・クラレもデュアル・トウをカスタマイズ可能なモデルとしました。公式サイト www.dualtow.ch の中の“コンフィギュレーター”では、さまざまなカラーの中から、ご自分のモデル用にカラーをお選びいただけます。たとえば、地板では、ロジウムめっき、4Nゴールドめっき、ブラックゴールドめっきといった選択肢があります。また、針、トゥールビヨンの受け、サファイアガラスを固定しているネジ、時・分のインジケーターの“フォーク”、差動機構の部品にもさまざまなカラーが提案されています。バンド、プッシュボタン、リユーズなどのラバーを含む部品も同様です。イエローグリーンから鮮明なレッド、ナイトブルーにアイボリーホワイトまで、デュアル・トウの各モデルが、他とは異なるたったひとつの存在であることをアピールしています。

デュアル・ トウ

遊星歯車機構によるシングルプッシュボタンに
ソヌリ機構が搭載された トゥールビヨン クロノグラフ

ムーブメント:

サイズ: 32.60 x 40 x 10.70 mm

部品数: 568

石数: 65

パワーリザーブ: 60

香箱: 平行に配されたツインバレル

トゥールビヨン: - 脱進機: スイス製のアンクル式
- テンプの振動数: 3 Hz (21600 回/時)
- トゥールビヨンの回転数: 1 回/分

機能: - ベルトによる時・分表示

- 遊星歯車機構によるシングルプッシュボタン クロノグラフ
- モード変更時 (スタート、ストップ、リセット) にゴングが鳴る、機械式ソヌリ機構
- 12 時間カウンター、60 分カウンター、60 秒カウンター
- 作動インジケーター
- 機械式ムーブメント
- パワーリザーブインジケーター

デュアル・ トウ

遊星歯車機構によるシングルプッシュボタンに ソヌリ機構が搭載された トゥールビヨン クロノグラフ

外装 :

- ケース :**
- 人間工学に基づいて特別開発されたガラス
 - なたらかなカーブを描く長方形、手首の形に完璧に合わせることのできる調整可能なラグ付き
 - サイズ : 42.75 x 48.20 x 15.85 mm (ラグを含まないサイズ)
 - ケースの防水性 : 3 気圧 (30m)

ベルト : 時間と分の数字が転写されたラバー製

インナーベゼル : 5 つの異なる石によるクロノグラフ機能の秒インデックス付き

リューズおよびプッシュボタン : ラバーに覆われたデザイン

文字盤 : クロノグラフ機能のカウンターの受けの役割も果たしているサファイアガラス製。文字盤上には転写によるクロノグラフの時・分のカウンター、クロノグラフの各モード、ブランド名、“Swiss Made”の表示

バックル : 装飾カバー、および手首回りに 10mm までゆとりが出せる革新的システムが付いたトリプルフォールディングバックル

シリーズ : すべてが一点ものの 68 個限定モデル

ケース、受け、地板、針、ベルト、リューズ、プッシュボタン、ストラップなどの大部分の部品は、公式サイト www.dualtow.ch の“デュアル・ トウ・ コンフィギュレーター”を使ってカスタマイズすることが可能です。

Christophe Claret SA – Alexandra Louvrier – Marketing & PR Manager – Le Soleil D’Or 2 – 2400 Le Locle – Switzerland
Phone: +41 32 933 80 26 Fax: +41 32 933 80 81 Email: a.louvrier@claret.ch